


2010～2011年度  地域を育み、大器をつなぐ RI会長 レイ・クリングスミス 地区ガバナー 井橋吉一	国際ロータリー第2770地区第10グループ 三郷中央ロータリークラブ 週 報 会長 沖 良男 幹事 橋 和宏	例 会 7月18日(日) 第955回	発行 会報・IT委員会 ・委員長 田中欣一 ・副委員長 谷津茂男 ・委員 浅賀紀一 大井巴喜彦 宮田 博 橋和宏
		例会場 銀座「パリの朝市」 親睦 浅賀紀一 ロータリー特別月間 ロータリー親睦活動月間	
URL http://www.misatochuo-rc.com/		事務局 海老原 美智子 TEL 048-953-7711 FAX 048-953-7070	

〔夫人同伴親睦納涼例会〕 フランス料理<パリの朝市>銀座店 11時30分～13時30分

1. 開会 浅賀紀一親睦委員長



本日は「パリの朝市」での「夫人同伴納涼例会」に大勢の皆さんの参加をいただきまして、有難うございました。
シェフ自慢のおいしい料理を召し上がって暑さを忘れ親睦を深めましょう。

2. 会長挨拶



沖良男 会長

皆さんこんにちは、本日は日曜日のお忙しい中を銀座、「パリの朝市」へ用こそお出かけいただきました。昨日、気象庁によりますと、平年より5日ほど早く梅雨明けが成された模様でございます。庭に植えられたヒマワリやハスの花が待っていたかのように咲き出しました。

ロータリーの新年度7月より三郷中央ロータリークラブの21代会長を担当いたします沖良男でございます。よろしくお願いたします。

本日の例会は親睦委員長の主催による恒例のご夫人同伴納涼例会でございます。浅賀委員長には早い時期より予約設定を頂き有難うございました。

とても雰囲気のあるすばらしいお店です。貸しきり席でのフレンチ・フルコースを堪能させていただきたいと思っております。今回浅賀委員長さんには奥様方に喜んでいただけることをモットーに企画をしていただきました。次の機会も楽しみにしております。



さて、当クラブは新年度、かつて経験したことのない会員19名でのスタートとなり存亡の危機的状況を覚えずに入られません。この様な状況を踏まえ13日の第2回例会後、加藤地次会員増強維持委員長よりFireside Meetingの要請があり関係委員により増強に当たっての再確認をいたしたところですが、どうか、会員はもちろんですが奥様、家族の皆さん、三郷中央クラブのロータリアンに相応しい方が居りましたら、是非、紹介をよろしくお願いたします。

3. 乾杯&挨拶 加藤英泉 直前会長



こんにちは、本日は沖、橘年度3回目の例会を浅賀親睦委員長の粋な計らいで銀座4丁目のフランス料理のお店で、昼間からお酒を飲めるのは最高の設定だと思います。沖会長もこれから1年間ご苦労様ですが、私は今、会長が終わってすっきりした気分です。それでは会員の皆様のご健勝とお仕事のご繁栄をご祈念し、乾杯をしたいと思います。「乾杯！！！」





浅賀さん、ご馳走様でした。

おいしい料理を久しぶりに頂きました。皆さん大満足でそれぞれ帰途に着きました。
会員12名、夫人11名、友人1名、事務局1名 合計25名の参加でした。

出席報告 宮田 博 出席副委員長

例会数	例会日	会員数	出席数	欠席数	免除	MU	出席率
第955回	7月18日	19名	11名	6名	2名	0名	64.71%
第954回	7月13日	19名	14名	3名	2名	0名	82.35%
第953回	7月06日	19名	15名	2名	2名	2名	100%

”ロータリーの例会は人生の道場”

ロータリー・ライフにおける親睦の第1歩は、まず、毎週必ず例会に出席することから始まります。入会前のインフォメーションで①ホームクラブに半期30%以上出席、②メイクアップを含めて半期50%以上出席③連続4回欠席してはならないという出席規定を聞いていたとしても、その条件はひとまず破算に戻して①ホームクラブに毎週必ず出席する。②どうしてもホームクラブに出席できないときは、必ずメイクアップすると再入力する必要があります。

この規約は、会員身分を保証するための最低条件に過ぎず、ロータリー運動が望んでいる会員像は、毎例会欠かさず、ホームクラブに出席してくるロータリアンの姿だからです。

例会の目的は、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の持続性を学び、友情を深め、自己改善を図ることにあり、その結果として奉仕の心が育まれてくるのです。自己改善は終生続けられなければなりませんからロータリアンには定年はないし、ロータリー運動には終結もありません。これが例会出席がロータリー・ライフの前提となる所以なのです。

米山梅吉は「ロータリーの例会は人生の道場」と語っています。

お互いが切磋琢磨して自己研鑽に励む貴重な修練の場でなければなりませんから、例会運営に当たる者は、事業に従事すべき貴重な時間を割いて例会に参加する会員に、それに値するメリットを与える義務があります。

限られた時間の中で、いかに有益な情報を効果的に提供するかを真剣に考えて実行しなければなりません。会長の時間、議事、各種の報告、卓話、その一つ一つがロータリー運動の質を高め、参加者の心に深い感銘を与える内容であって、こそ、初めて例会出席の意義が満たされるのです。